

第3号議案 2017～2020年度 中期目標

私たちは2013年度からの4年間、1期2年間の運動サイクルを堅持したうえで「運動の基本目標」の実現のため中期的な目標感として方向性を明示した3つの運動の柱を設定し、サービス連合本部・地連・加盟組合が一体となって取り組むことができるよう、必要な活動領域を6つに分類して取り組みを行ってきました。各年度のまとめで表してきたように、サービス連合として活動は着実に前進し、課題解決をはかってきています。一方、これまでの3つの運動の柱自体の内容に不備があるわけではないものの、取り組みの実行はいまだ完全ではなく、その成果が十分に表れていない課題も存在します。「運動の基本目標」の実現にむけて、引き続き『運動の柱』を設定し多岐にわたる活動の基本線を明示していくこととします。また、活動はそもそも領域を限定せず自主的に行っていく必要があります、領域内の活動に固執することなく、横断的に活動していくため、今後は活動の主体や役割を明確にしていきます。

サービス・ツーリズム産業の社会的地位の向上や組合員の労働条件の維持・向上をはかるために中長期的な目標である「10万人組織」の実現は必要であり、各加盟組合が労働組合としての役割を果たすためには、労働環境の実態を把握し、組合員の声を反映した要求を行うことができる組織基盤は不可欠です。また、この産業の社会的地位を向上させるためには、この産業で働く人が十分に満足し、他産業から見ても魅力ある産業となる労働環境の整備が求められます。そして、観光立国の実現と21世紀にふさわしい基幹産業としての発展を目指し、働くものの声を背景に、政策提言の実現にむけ具体的な取り組みを強化することが必要です。加えて、私たちの運動は、産業や企業の枠にとどまることなく、常に社会との共生や連帯を求める活動をつうじて客観的な視点や社会性を持つことが重要です。これらの重要課題を常に認識共有し、「運動の基本目標」を実現するため、新たに4つの『運動の柱』として設定し取り組んでいきます。

サービス連合としてこれまでの運動の積み重ねを基盤に、結成20周年にむけた今後の4年間を「産別組織として更なる進化を遂げていく期間」と位置付け、「運動の基本目標」の実現にむけて具体的成果を積み上げていくことを目指します。

「運動の基本目標」の実現にむけ、私たちの産業を取り巻く環境変化の本質や取り組むべき課題を共有し、基幹産業で働いている自負を持ち、各組織が産別活動に主体的に取り組むことにより、サービス連合全体の組織力の底上げをはかっていくことが重要です。サービス連合の組織・機能を十二分に活かし、「本部」・「地連」・「加盟組合」が各々連携することにより、一丸となって取り組み、運動を力強く前進させていきます。

<運動の柱>

◎強固な組織基盤の確立

すべての加盟組合での主体的な組織運営を実現し、10万人組織を目指し組織拡大に取り組みます。

◎労働環境の整備と向上

一人ひとりが働きがいと生きがいを持ち、安心して働き続けることができる産業を実現します。

◎産業政策の提言と実現

私たちは日々の調査・研究活動などをつうじ積極的な観光政策提言を行い、その実現をつうじ産業活動の社会的公正さと観光立国にふさわしい産業の健全な発展を促します。

◎社会への関与と共生と連帯

私たちの運動が社会の公器として期待される役割を担い、常に社会との共生と連帯を求め続けます。

【あるべき姿にむけて】

☆強固な組織基盤の確立

組合員の労働条件の維持・向上やサービス・ツーリズム産業の社会的地位の向上をはかるには、加盟組合が会社に対して交渉力を発揮し、サービス連合が産業・社会に対して影響力を行使することが重要です。そのために、サービス・ツーリズム産業労働者の力を総結集し、加盟組合・サービス連合が相互に強固な組織基盤を確立する必要があります。強固な組織基盤を構築するため、サービス連合は加盟組合との団結を深め支援機能を強化し、「10万人組織」の実現にむけ組織拡大に全力を傾注します。

加盟組合は、組合員との活発なコミュニケーションにより多くの仲間から様々な声を集め、会社と真摯に協議を尽くすことで交渉力を発揮することができます。加盟組合の労働環境の整備と向上の積み重ねが、私たちの産業の魅力向上につながります。サービス連合の活動は加盟組合の活動なくして成り立ちません。加盟組合の組織基盤の確立のため、サービス連合は加盟組合との団結を深め、すべての加盟組合で主体的な活動ができるよう加盟組合への支援機能強化に取り組みます。

サービス連合全体として強固な組織基盤を確立するため、「10万人組織へのプロセス」を堅持し、この4年間で「組織人員50,000人」の達成を目指し、企業内や関連企業の組織化促進に重点的に取り組むとともに、未組織企業の組織化や未加盟組織の産別加盟に取り組みます。

主な課題

- ・総合労使協議体制の確立にむけたプロセスと、主体的な組織運営に必要な取り組みメニューの提示
- ・加盟組合への産別活動（サービス連合の活動）の意義の浸透
- ・情報発信、広報活動強化
- ・人財育成の取り組み強化（人財育成プログラムの整備／研修機会の充実）

- ・支援体制の見直し・強化
- ・加盟組合内組織率アップ、未組織企業への取り組み強化
- ・「10万人組織」を目指す意義の再確認と実現にむけたプロセス議論

☆労働環境の整備と向上

私たちの産業で働くもの一人ひとりの労働環境やライフスタイルが充実し、他産業から見ても魅力ある産業となる労働環境の整備は欠かせません。そのためには、各地連や加盟組合との連携を強め、中期的な賃金目標「35歳年収 550万円」の到達にむけた労働条件の改善や総実労働時間1800時間にむけた時短方針を策定し、取り組むこととします。

また、労働法制にも関連して労働条件向上のために「サービス連合諸基準」の活用に取り組めます。

ワーク・ライフ・バランスの実現にむけて男女平等参画推進計画に基づく女性役員比率の増加、両立支援・男女平等社会の実現にむけた統一对応の到達組合の増加、総実労働時間の削減について加盟組合の取り組みを推進します。

魅力ある産業の実現にむけ、労働条件にかかわる委員会での議論をつうじた加盟組合の意見の反映により、各企業の労働条件の引き上げについて更なる推進をはかることとします。

主な課題

- ・総実労働時間短縮をはじめとした労働条件の向上
- ・賃金制度の整備や賃金実態把握
- ・労働条件・賃金実態調査数の拡大
- ・労働法制の理解浸透
- ・労働政策提言機能の構築
- ・情報発信、広報活動強化
- ・政治との関わり・関係省庁や業界団体との連携強化
- ・ワーク・ライフ・バランスの充実
- ・男女平等参画推進計画の実行

☆産業政策の提言と実現

私たちは社会的に意義を持ち観光立国にふさわしい魅力ある産業の実現や、総合物流の振興を主意とした、国際航空貨物業の更なる発展を目指すために、これまで産業の未来や、国や自治体の政策に対する現状の課題について議論し提言を行ってきました。今後もその取り組みを発展させるためにも働くものの立場から積極的に議論を行い、取りまとめたものについては行政をはじめとした関係機関との連携を強化し、広く社会に働きかけるなど産業政策への取り組みをより進化させ、政策提言機能の充実をはかることとします。

主な課題

- ・産業政策提言の実現
- ・産業政策に対する交渉窓口の拡大
- ・産業政策立案に対する理解浸透、スキルアップ
- ・宿泊業政策提言機能強化

- ・情報発信、広報活動強化
- ・政治との関わり・関係省庁や業界団体との連携強化

☆社会への関与と共生と連帯

私たちの運動は、産業や企業の枠にとどまることなく、常に社会との共生や連帯を求める活動をつうじて客観的な視点や社会性を持つことが必要です。こうした観点から、社会との共生と連帯を目指し、主体性を持った社会貢献活動や連合運動、国際連帯活動に取り組むこととします。

主な課題

- ・主体性を持った社会貢献活動、国際労働運動への更なる参画
- ・労働者自主福祉運動強化
- ・サービス・ツーリズム産業にとどまらない政策提言とその実現
- ・広報活動の充実
- ・政治との関わり・関係省庁や業界団体との連携強化